

アイテムの活用について

平成 25 年 4 月 12 日

算数科

昨年度から算数の教材として「アイテム」に取り組みました。今年度に向けて、次のことを共通理解し、活用していきたいと考えています。

1 アイテムの活用法

- (1) 「習得」までは、全児童必修のページと設定してあります。そこで、1つの単元が終わるまでには必ず「習得」までは終わらせ、担任が見届けをします。算数の時間や、家庭学習として取り組んでほしいと考えています。
- (2) 「活用」は、「習得」で学習したことを活用して解く問題です。「活用」は基本的に、チャレンジタイムで取り組んでほしいと考えています。ただし、チャレンジタイムでは、全ての子どもが「活用」に取り組むのではなく、習熟の状況に応じて、「習得」や「習得に類するもの」に取り組ませることも可能とします。
- (3) 「探究」は、応用力を身に付ける問題です。「活用」まで確実にできた子どもに取り組ませます。(子どもやクラスの実態に応じて取り扱う)

アイテム構成	タイトル	活用法
ステップ1	解説＋練習しよう	・単元末までに終わらせる。 ・担任が確実に見届けをする。
ステップ2	たしかなものにしよう（習得）	
ステップ3	活用する力をつけよう（活用）	・チャレンジタイムに取り組む
ステップ4	チャレンジしよう（探究）	・実態に応じて取り組む

2 その他

- (1) アイテムには、「計算ドリル」があります。最終ページには、「計算ドリル成績シート」もありますので、効果的に活用してください。
- (2) アイテムは、「個に応じた活用」が可能な教材です。例えば、単元テストを45分かかる子もいれば、15分で終わる子もいます。15分でテストを終えた子には、「探究」問題に取り組ませることも可能です。「習得」までは全員が取り組み、「活用」「探究」は「個に応じた活用」を図っていきましょう。
- (3) 「アイテムは全国学力調査B問題に対応しているのか？」という声を伺いました。5月から、ホームページで全国学力調査B問題に対応したプリントをダウンロードできるそうです。(アイテム購入学校のみ)